

平成 26 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 55 回放射線管理研修会)のお知らせ (6)

平成 26 年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成 26 年度放射線安全取扱部会年次大会は、北海道支部が中心となり開催します。以下に紹介する大会プログラムを用意しております。多くの参加者の皆様に興味を持っていただける内容になるよう、また、北海道支部らしさも取り入れて企画したものです。

今大会のテーマは、「放射線安全教育と放射線利用のさらなる向上を目指して!!」としました。

本大会では 3 つの特別講演と 3 つのシンポジウムを実施します。特別講演は、Ⅰで放射性同位元素等の規制に係る最近の動向について、Ⅱで豊かな野生動物や自然環境で有名なオホーツク海に関して、その生態系維持に重要な役割を果たしている流水の成り立ちの仕組みや近年の変動について、Ⅲで放射線の医学利用として有用性が注目されている粒子線治療の話題を、それぞれお願いしました。また、3 つのシンポジウムにつきましても、①放射線あるいは放射性同位元素の新しい利用に関して、②福島第一原子力発電所事故以降ますます重要性が増している正しい放射線知識の学校教育での推進、また、③放射線施設のみならず廃炉で今後の重要な課題である放射性廃棄物処理について、それぞれに多様な角度から放射線利用について取り上げました。

昨年の鹿児島市での九州支部が担当された年次大会ではポスター発表の内容をあらかじめ紹介する時間を設けたり、年次大会最後の所まで

とめの討論を行うなど様々な改革が加えられ、参加者の皆様から大変好評でした。本年もこれらの運営方法を踏襲して行っていきたいと思っております。

実行委員会は特別講演、シンポジウムなどを通じて、皆さんに魅力的で、興味深く、役に立つ最新の情報をお届けする意気込みです。秋の札幌市へ、多数の参加をお待ちしております。

○開催日：平成 26 年 10 月 30 日(木)、31 日(金)

○会場：北海道立道民活動センター
(かでの 2・7) かでのホール
札幌市中央区北 2 条西 7 丁目
道民活動センタービル
(JR 札幌駅より徒歩 12 分)

○テーマ：放射線安全教育と放射線利用のさらなる向上を目指して!!

○参加費：10,000 円 (交流会参加費込)
5,000 円 (年次大会のみ参加)
参加当日に受付にてお手続きください。

かでのホールを、部会総会、特別講演、シンポジウムを開催するメイン会場とし、ポスター発表、機器展示並びに相談コーナーは展示ホールにて行います。参加受付は、かでのホールの入口の前に設置します。休息室は 110 会議室で、クロークは休息室内に設置しますのでご利用ください。交流会は、かでのホール南側の道路を東に徒歩 3 分のホテル札幌ガーデンパレスにて開催します。

主任者 コーナー

プログラムのハイライト

★特別講演 I 「放射性同位元素等の規制に係る最近の動向」(10月30日 10:40~11:40)

高根義幸氏 (原子力規制庁放射線防護対策部放射線対策・保障措置課放射線規制室室長)

RI 関連施設の管轄官庁である原子力規制委員会の立場から放射線安全管理行政について、放射線規制の最新情報を講演していただきます。

★特別講演 II 「豊かな海の秘密」(10月30日 16:35~17:35)

若土正曉氏 (北海道大学名誉教授)

若土氏は地球物理学が専門で、流水の生成機構、海流の世界的規模の分析研究では世界的に著名な方です。北海道の海洋生物のゆりかごであるオホーツク海を中心とした自然環境維持における海流、流水の重要性について科学的な内容をやさしく話していただく予定です。また、本講演は一般公開としています。

★特別講演 III 「これからの北海道の陽子線治療」(仮題) (10月31日 11:00~12:00)

梅垣菊男氏 (北海道大学大学院工学研究院)

梅垣氏は北海道で初めての粒子線治療施設である北海道大学病院陽子線治療センターの立ち上げに携わったメンバーの1人です。北海道大学の陽子線施設は非常にコンパクトになるように設計された施設でペンシルビームによる陽子線照射を特徴としております。本講演ではこの施設の特徴とがん治療の粒子線治療の今後について話をさせていただく予定です。

★シンポジウム I 「ここまで来た獣医療での放射線利用」(10月30日 14:40~16:25)

1) 獣医療法改正と獣医での放射線利用

桑原幹典氏 (北海道大学名誉教授)

2) 獣医核医学の最近の進歩

伊藤伸彦氏 (北里大学名誉教授)

3) ペットの放射線治療と獣医系大学での放射線教育

藤田道郎氏 (日本獣医生命科学大学)

4) 小動物臨床での放射線利用の広がり

滝口満喜氏 (北海道大学)

平成 21 年に放射線・放射性同位元素の獣医療への利用に関して獣医療法施行規則の一部改正が行われ、医療と同じ 1 MeV 以上のがん治療用のリニアックの使用が認められました。また、アイソトープを用いた診断についても核種は限定されているものの PET や SPECT の利用も獣医療で使うことが可能となりました。大学を中心にリニアックの導入は年々進んでおり、また、数は少ないですが獣医核医学診断を取り入れた診療も開始されてきており、先進的獣医療が受けられるようになっております。これは 1 つの放射線利用の広がりと思いますが、あまり一般に普及していないため会員の皆様にも知られておりません。本年次大会で獣医療でのこれらの法令改正の経緯、広がり現状を紹介し、今後の安全教育の課題などについて情報を共有できればと考えております。このシンポジウムは一般公開とします。

★シンポジウム II 「学校教育における放射線教育」(10月31日 9:30~10:50)

1) 放射線教育資料の紹介と教育の経験から

宮越順二氏 (京都大学)

2) 放射線利用、物理的側面からの教育内容について

上蓑義朋氏 ((独)理化学研究所)

3) 生物・医学的側面からの教育内容について

角山雄一氏 (京都大学)

4) 今後の放射線教育についての提言

中島 覚氏 (広島大学)

5) 質問・総合討論 (演者全員)

東日本大震災での福島第一原子力発電所事故による影響が長期化する中で、今後、世代を超えて長期にわたって正しい放射線の知識を伝えていくことは重要な課題です。特に学校教育での放射線の正しい理解を進めることは、次世代に続く放射線の正しい理解、ひいては復興において極めて重要な課題です。現在、中学校、高等学校の教員を対象とした教員研修会が当部会や関連団体が主催となって各地で開始されつつあります。今回はこれらの事業に参加された方々から4名を招き、実施経過と経験を紹介していただくとともに、今後の私たちが関わる学校教育での放射線教育の問題点やあるべき方向について議論できればと思っております。

★シンポジウムⅢ「放射性廃棄物の現状と課題」(10月31日 13:00~15:00)

1) 基調講演「我が国の放射性廃棄物処分の全体像」

柳原 敏氏 (福井大学附属国際原子力工学研究所)

2) 「研究施設等廃棄物の現状と処分への課題」

パネラー1 坂本義昭氏 ((独)日本原子力研究開発機構)

3) 「高レベル放射性廃棄物の処分計画と課題」

パネラー2 鈴木 覚氏 (原子力発電環境整備機構)

4) 「福島第一原子力発電所内の事故廃棄物の現状と課題」

パネラー3 小野文彦氏 (東京電力(株))

5) パネルディスカッション (演者全員)

アイソトープを用いた研究・医療活動等によって発生した放射性廃棄物は集荷・貯蔵されてきていますが、現在までのところ処分には至っていません。これは、原子力発電に伴って発生する高レベル放射性廃棄物や福島第一原子力発電所の事故で生じた廃棄物の処分と同様に大きな課題となっています。一般放射性廃棄物から

福島県の環境修復によって生じた廃棄物まで、課題を整理し、今、国民に対する理解や人材育成などの面で私たちがなすべきことは何か？ 当部会として何ができるか？ などの問題を掘り下げていくシンポジウムにしたいと考えております。

ポスター発表 (展示ホール)

ポスター発表は、皆様が直接交流できる場です。多くの方々にご来場いただき、活発な討論や情報交換をしていただけたらと思います。

ポスター展示時間

10月30日 11:00~10月31日 12:30

ポスター発表時間

奇数番号ポスター:

10月30日 13:30~14:00

偶数番号ポスター:

10月30日 14:00~14:30

機器展示 (展示ホール)

(10月30日 9:00~17:00 及び 10月31日 9:00~14:00)

放射線関連製品メーカーからの展示があります。時間の許す限りゆっくりご覧ください。

相談コーナー (展示ホール)

(10月30日 12:00~13:30)

日頃の放射線管理業務での疑問やお困りのことなどについて、ご相談をお受けします。相談員には各支部のベテランや法令検討専門委員会の方をお願いしております。お気軽にお立ち寄りください。

交流会 (ホテル札幌ガーデンパレス)

(10月30日 18:00~20:00)

交流会は、大会会場のかでるホール南側の道

主任者 コーナー

を東に徒歩で3分程度の場所で開催します。現在、交流会の企画を計画しております。参加された皆様の交流を深める絶好の機会です。多数のご参加をお待ちしております。

【連絡先】

○放射線安全取扱部事務局

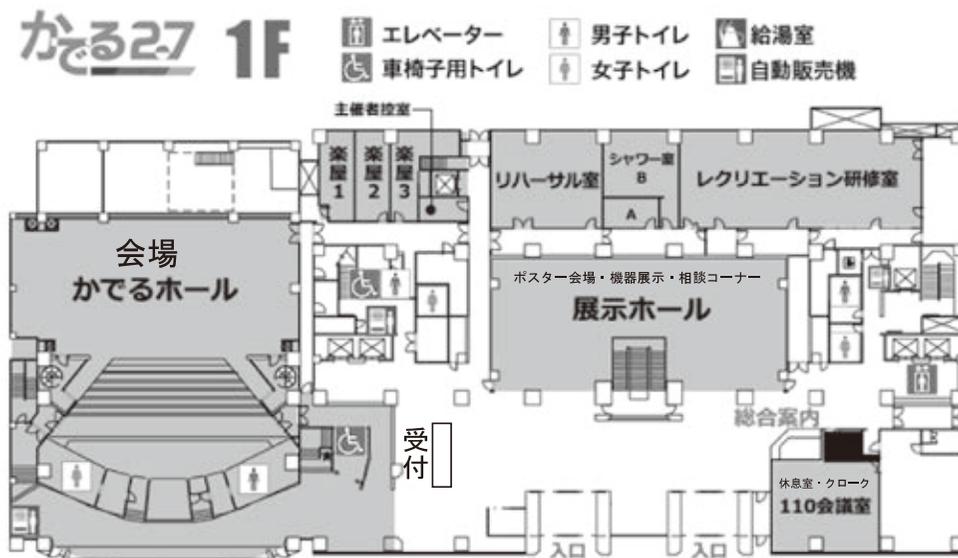
日本アイソトープ協会学術・出版課

☎113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

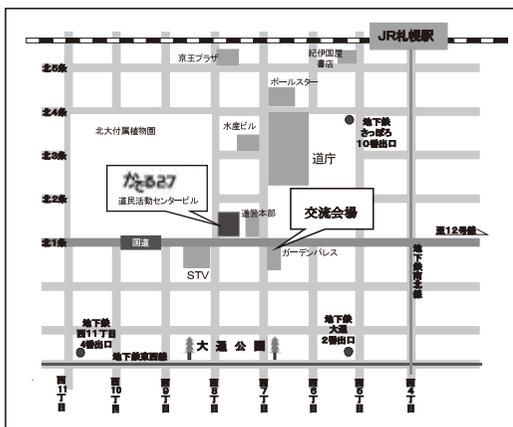
☎03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

E-mail gakujutsu@jrias.or.jp

会場レイアウト



会場へのアクセス



●最寄の交通機関

JR	[札幌駅]南口	} 各駅から徒歩約10～12分
地下鉄	[さっぽろ]駅10番出口	
	[大通駅]2番出口	
	[西11丁目]駅4番出口	
JRバス	北1条西7丁目(停留所)から	徒歩約3分
中央バス	北1条西7丁目(停留所)から	徒歩約3分

●新千歳空港からのアクセス

JR	千歳線札幌駅下車(快速36分)後、上記最寄の交通機関利用
バス	1階のりば13番、24番の連絡バスにて京王プラザ札幌前下車(70分)後、徒歩5分

かでの2・7 地下駐車場 出入口は建物の北側(北3条通り側)にあります。

8:30～21:30		21:30～翌日 8:30
基本料金	超過料金	泊まり料金
最初の1時間まで 300円	30分につき 150円	610円

平成 26 年度放射線安全取扱部会年次大会（第 55 回放射線管理研修会）

●期 日：平成 26 年 10 月 30 日（木）10:00～31 日（金）15:30 まで

●会 場：北海道立道民活動センター「(かでの 2・7) かでのホール」

（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 道民活動センタービル）（JR 札幌駅より徒歩 12 分）

●交流会：ホテル札幌ガーデンパレス（北海道立道民活動センターから徒歩 3 分）

年次大会プログラム

○第 1 日目 10 月 30 日（木曜日）

時 間	かでのホール	その他の会場
9:00～	参加受付（1 階かでのホール入口）	クローク（110 会議室）
10:00～10:40（40 分）	大会実行委員長挨拶 部会総会 部長挨拶 支部活動報告及び本部専門委員会報告，質疑・討論	9:00～18:00 機器展示（展示ホール） 9:00～17:00
10:40～11:40（60 分）	特別講演 I 座長：稲波 修氏（北海道大学） 「放射性同位元素等の規制に係る最近の動向」 島根義幸氏（原子力規制委員会 放射線規制室長）	書籍コーナー（受付横） 9:30～17:00
11:40～12:00（20 分）	ポスター発表紹介：山田一孝氏（帯広畜産大学）	ポスター掲示（展示ホール）
12:00～13:00（60 分）	昼食休息（相談コーナー）	11:00～17:00
13:00～14:30（90 分）	ポスター発表 （13:30～14:00） 奇数番号ポスター説明 （14:00～14:30） 偶数番号ポスター説明	発表者は 11:00 までに貼り終え、翌日 12:30 まで掲示
14:40～16:25（105 分）	シンポジウム I（一般公開） 「ここまで来た獣医療での放射線利用」 座長：林 正信氏（酪農学園大学） ①「獣医療法改正と獣医での放射線利用」 桑原幹典氏（北海道大学） ②「獣医核医学の最近の進歩」 伊藤伸彦氏（北里大学） ③「ペットの放射線癌治療と獣医系大学での放射線教育」 藤田道郎氏（日本獣医生命科学大学） ④「北海道での小動物臨床での放射線利用の広がり」 滝口満喜氏（北海道大学）	相談コーナー（展示ホール） 12:00～13:30
16:35～17:35（60 分）	特別講演 II（一般公開） 座長：桑原幹典氏（北海道大学） 「豊かな海のコト」 若土正暁氏（北海道大学）	
18:00～20:00（120 分）	交流会（ホテル札幌ガーデンパレス）	

主任者 コーナー

○第2日目 10月31日(金曜日)

時間	かでのホール	その他の会場
9:00～	参加受付 (1階かでのホール入口)	クローク (110会議室)
9:30～10:50 (80分)	シンポジウムⅡ「学校教育における放射線教育」 座長：中島 覚氏 (広島大学) ①「放射線教育資料の紹介と教育の経験から」 宮越順二氏 (京都大学) ②「放射線利用，物理的側面からの教育内容について」 上叢義朋氏 (理化学研究所) ③「生物・医学的側面からの教育内容について」 角山雄一氏 (京都大学) ④「今後の放射線教育についての提言」 中島 覚氏 (広島大学) ⑤ 質問・総合討論 (全員)	9:00～16:00 機器展示 (展示ホール) 9:00～14:00 書籍コーナー (受付横) 9:00～14:00
11:00～12:00 (60分)	特別講演Ⅲ 座長：久下裕司氏 (北海道大学) 「これからの北海道の陽子線治療」(仮題) 梅垣菊男氏 (北海道大学)	ポスター掲示 (展示ホール) 9:00～12:30 ※ 13:00以降に貼ってあるポスターは実行委員会で処分します
12:00～13:00 (60分)	昼食休息	
13:00～15:00 (120分)	シンポジウムⅢ「放射性廃棄物の現状と課題」 座長：小崎 完氏 (北海道大学) ①基調講演「我が国の放射性廃棄物処分の全体像」 柳原 敏氏 (福井大学) ②「研究施設等廃棄物の現状と処分への課題」 パネラー1 坂本義昭氏 (日本原子力研究開発機構) ③「高レベル放射性廃棄物の処分計画と課題」 パネラー2 鈴木 覚氏 (原子力発電環境整備機構) ④「福島第一原子力発電所内の事故廃棄物の現状と課題」 パネラー3 小野文彦氏 (東京電力(株)) ⑤パネルディスカッション	
15:00～15:20 (20分)	大会のまとめ 座長：宮越順二氏 (京都大学) 山田一孝氏 (帯広畜産大学), 林 正信氏 (酪農学園大学), 中島 覚氏 (広島大学/当部会企画専門委員会), 小崎 完氏 (北海道大学)	
15:20～15:30 (10分)	次回大会紹介，閉会	

ポスター発表申込み一覧

分類	番号	表 題	氏名(所属)
施設管理・運用・リスク	A-1	「放射線業務従事者」管理と「証明書」	五十嵐敏美(東京工業大学)
	A-2	非接触式入退管理・在庫管理用個人認証システムの更新	片岡賢英, 菊地裕純, 井上浩義, 茂松直之(慶應義塾大学), 稲塚祥次(イング), 中里一久(つくば国際大学)
	A-3	放射線発生装置使用室の完全閉扉を目標で確認するための工夫について	池田岳紡(北里大学)
	A-4	静脈認証システムを使用した放射線管理区域の管理システムの構築	宮澤俊義, 大矢恭久, 矢永誠人(静岡大学)
	A-5	PET 施設固有の RI 使用計画のシステム化	矢嶋一賀(アステラスリサーチテクノロジー), 青木洋祐(東京ニュークリア・サービス)
	A-6	隣接管理区域における臨床使用と治療棟増設工事の両立	大岡義一(互恵会大船中央病院)
	A-7	SAGA-LS における放射線管理の現状	岡島敏浩(九州シンクロトン光研究センター)
	A-8	RI 施設の移転と下限数量以下の非密封核種を扱う施設の新設	宮嶋直樹(京都大学)
	A-9	排水設備(床下ピット内:集合槽)の施設点検時の酸欠作業管理	中川俊幸, 宮嶋直樹(京都大学)
	A-10	公益社団法人日本アイソトープ協会において集荷された RI 廃棄物における不適切な事例について	吉岡正勝(日本アイソトープ協会)
	A-11	使用済み GM 管の再生方法	永松知洋, 作埜秀一, 花房直志, 小野俊朗(岡山大学)
	A-12	表面汚染拭き取り用シートが液体シンチレーションカウンタの計数値に与える影響について	阿部利明, 馬田敏幸(産業医科大学)
	A-13	ビートモスを用いた放射性廃液処理の試み II	横田繁昭, 磯部尚子, 前澤健, 吉田茂生(東海大学), 五味正博(アトックス)
教育訓練・啓発活動	B-1	外部機関から派遣された放射線業務従事者に対する合理的な教育訓練の実施例について	鈴木智和(大阪大学)
	B-2	佐賀大学における放射線教育の取組み	森加奈恵, 徳山由佳, 近藤敏弘, 伊藤富生, 寺東宏明(佐賀大学)
	B-3	課外学習プログラムによる医療系学生への放射線教育の紹介	飯塚裕幸, 宮下由美, 小野啓(埼玉医科大学)
	B-4	放射線教育支援サイト「らでい」を利用した教育実践	飯本武志(東京大学)
	B-5	大学教育における ¹³⁷ Cs- ^{137m} Ba ジェネレータを用いた非密封 RI の安全取扱実習の紹介と測定データの経年変化の評価	門前暁, 吉野浩教, 齋藤美希, 中原岳久, 柏倉幾郎(弘前大学)
	B-6	ラドンの子孫核種を用いた教育訓練	土井幸一, 草間経二(日本アイソトープ協会)
	B-7	塩化カリウムを用いた新規密度測定法の構築及び放射線教育への利用	藤野秀樹(兵庫医療大学), 河野孝央(核融合科学研究所)
	B-8	鳥取県の地域特性を利用した放射線教育教材の開発	北実, 板井章浩, 中村麻利子(鳥取大学)
	B-9	乾燥昆布に含まれるカリウム 40 の放射能は、本当に 2000 Bq/kg ?	河野孝央(核融合科学研究所)
	B-10	放射線施設における地震による火災を想定した消防署との合同避難訓練	高橋賢臣, 鈴木智和, 山本仁, 富田賢吾, 百瀬英毅, 梅田幸治(大阪大学)
分科会・委員会・支部報告	C-1	企画専門委員会の活動—平成 26 年度教育訓練講習会アンケート結果とその考察—	第 28 期放射線安全取扱部会企画専門委員会
	C-2	放射線計測分科会の報告	野村貴美(元 東京大学), 尾崎則仁(日立アロカメディカル), 岩井淳(千代田テクノ), 飯本武志(東京大学/企画専門委員会)
	C-3	放射線安全取扱部会分科会 PET 施設管理研究会の活動報告	佐々木将博(先端医療センター)
	C-4	九州支部の活動	放射線安全取扱部会九州支部
	C-5	近畿支部活動—近畿支部 OB 委員・会員とも一緒に頑張っています—	飯田敏行(大阪大学), 矢鋪祐司(日本たばこ産業)
	C-6	平成 27 年度放射線安全取扱部会年次大会(第 56 回放射線管理研修会)のご案内	柴和弘(金沢大学)
震災・地域貢献・環境放射能	D-1	福島県石川町の農産物放射能自主検査の取組み紹介—風評被害対策活動のために—	鈴木崇彦(帝京大学), 矢内清春, 岸浪正徳(石川町), 鈴木裕介(JA あぶくま石川), 水野裕元, 黒木智広(富士電機), 飯本武志(東京大学)
	D-2	福島県内の土壌における放射性セシウムの浸透状況	新井正一(純真学園大学), 土居亮介(久留米大学)
	D-3	福島市東部地区仮置き場における除染ボランティア参加時の被ばく線量	永野利典, 佐藤進吾(東京女子医科大学), 平沼信子(福島復興プロジェクトチーム 花に願いを)
	D-4	繁殖和牛放射性セシウム濃度測定装置の競り市への適用	大槻勤(京都大学), 高瀬つぎ子, 河津賢澄(福島大学), 古閑文哉, 内田守謙, 石川雄治, 白石芳雄, 遠藤孝悦(福島県農業総合センター), 立谷辰雄(コムテックエンジニアリング), 泉雄一(日本環境調査研究所)
	D-5	震災地域農作物放射能推定のための低価格 CsI(Tl)シンチレーションカウンターを活用した測定方法	上田幸太郎, 遠藤大二, 林正信(酪農学園大学), 藤吉亮子(北海道大学)
	D-6	伊勢志摩地区の地域貢献活動「放射線安全管理ネットワーク」について	釜谷明, 大山泰, 北出明, 谷貞和明, 林奈緒子, 藤原綾香(伊勢赤十字病院)
	D-7	千葉県東葛飾地域における一般家屋を対象とした簡易除染法の提案と評価	安藤宏敏, 浅井朋彦(日本大学), 中川和宜(タマル美建興業)
	D-8	トータルダイエット試料による食品からの放射性セシウム及びカリウムの摂取量推定	蜂須賀曉子, 植草義徳, 鍋師裕美, 堤智昭, 松田りえ子(国立医薬品食品衛生研究所)
	D-9	車載型放射線モニタリングシステムを用いた空間線量率マップの作成	土居亮介(久留米大学), 新井正一(純真学園大学)
	D-10	屋内ラドン濃度調査	樋口健太(鹿児島医療技術専門学校)
	D-11	簡略化サムピーク法の開発とその応用例	緒方良至, 石樽信人, 山本誠一(名古屋大学), 宮原洋(岐阜医療大学), 石原正司(名古屋市立大学), 小島貞男(愛知医科大学)
	D-12	原子力災害等に関する緊急被ばく医療の初期対応研修会に参加して～福島での活動を含め～	田中悟(三田市民病院)

掲示時間 (10月30日 11:00～31日 12:30)

発表時間 (10月30日 13:00～14:30)

13:30～14:00 奇数番号ポスター説明, 14:00～14:30 偶数番号ポスター説明